

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
パソコン実践 I	必修	60時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
小林淳子	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
営業事務で会議資料、プレゼン資料等の作成	

(3) 授業概要

WORD3級の検定合格を目標として、時間内に早く・正確に効果的な文書作成ができること。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

文書作成に加え、作業中のエラーや周辺機器の使用についても対応できるようになること。

(5) 成績評価方法・基準

Word文書処理技能認定試験 3級合否・授業への意欲・態度・関心度を4:3:3で評価する
--

(6) 使用教材・教具

Microsoft Word3級クイックマスター基本編、Word文書処理技能認定試験3級問題集、パソコン、USB
--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 パソコン実践 I

W	時間	授業内容	授業方法
後期 7	1	オリエンテーション	wordの基本 文字の入力と基本操作 プロジェクトを使用しての操作説明、講義、演習
	2	windows基礎・入力練習 クイックマスター	
	3	chapter1,chapter2	
後期 8	4	入力練習 クイックマスター chapter3,chapter6	文書の編集 表を使った文書の作成 プロジェクトを使用しての操作説明、講義、演習
	5		
	6		
後期 9	7	入力練習 クイックマスター chapter4,chapter7	文書の印刷 図形や画像を使った文書の作成 プロジェクトを使用しての操作説明、講義、演習
	8		
	9		
	10	入力練習 クイックマスター chapter5	文書の作成 プロジェクトを使用しての操作説明、講義、演習
	11		
	12		
後期 10	13	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題1	演習
	14		
	15		
	16	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題1、2	演習
	17		
	18		
後期 11	19	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題2	演習
	20		
	21		
	22	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題3、4	演習
	23		
	24		
後期 12	25	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題4、5	演習
	26		
	27		
	28	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題6、7	演習
	29		
	30		

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 パソコン実践 I

W	時間	授業内容	授業方法
後期 13	31	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題7、8	演習
	32		
	33		
	34	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題8、9	演習
	35		
	36		
後期 14	37	Word文書処理技能認定試験3級問題集 練習問題9、10	演習
	38		
	39		
	40	Word文書処理技能認定試験3級問題集 模擬問題1→採点	模擬試験 学生同士の交換採点 間違い箇所の修正
	41		
	42		
後期 15	43	Word文書処理技能認定試験3級問題集 模擬問題2→採点	模擬試験 学生同士の交換採点 間違い箇所の修正
	44		
	45		
	46	Word文書処理技能認定試験3級問題集 模擬問題3→採点	模擬試験 学生同士の交換採点 間違い箇所の修正
	47		
	48		
後期 16	49	Word文書処理技能認定試験3級問題集 模擬問題4→採点	模擬試験 学生同士の交換採点 間違い箇所の修正
	50		
	51		
	52	Word文書処理技能認定試験3級問題集 模擬問題5→採点	模擬試験 学生同士の交換採点 間違い箇所の修正
	53		
	54		
後期 17	55	Word文書処理技能認定試験3級問題集 サンプル問題→採点	模擬試験 学生同士の交換採点 間違い箇所の修正
	56		
	57		
	58	Word文書処理技能認定試験3級問題集	模擬試験
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
異文化研究	必修	58時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科1年、医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
各コース(シドニー／シンガポール／台湾)の引率担当者	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

<p>上記3コースの中から学生が選択した都市への訪問が主目的となる。訪問する国や都市に関して事前に情報収集を行い、滞在中の行動計画もグループ単位で作成する。また、所属する学科と関連するテーマをグループごとに設定し、事前研究や現地でのリサーチを行う。帰国後は振り返りを行い、その内容を発表する。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>当校の運営理念である「世界的視野を持った学生の輩出」が目標となる。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>出席率、授業態度(現地滞在中の行動も含む)、グループワークへの貢献度、提出課題や発表の内容などを総合的に判断する。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>NBC作成の独自教材、業者から配布される資料等</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 異文化研究

W	時間	授業内容	授業方法
後1	1	異文化研究、海外研修の目的、概要など	講義(引率担当者による説明)
後2	2	国の概要調べ	グループワーク
後3	3	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
後4	4	名所調べ、学科別テーマ検討	グループワーク
後5	5	行動計画作成	グループワーク
後6	6	行動計画作成	グループワーク
後7	7	行動計画作成	グループワーク
後8	8	レンタル品、保険に関して	レンタル業者、保険代理店によるプレゼン
後9	9	会話の基礎	グループワーク
後10	10	留学生交流会	ゲスト(留学生)との会話
後11	11	旅行会社担当者あいさつ・注意事項確認	旅行会社の添乗担当者による説明
後12	12	行動計画最終詰め、出発前最終確認	講義(引率担当者による説明)
海 外 研 修 週	13	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	14	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	15	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	16	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	17	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	18	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	19	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	20	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	21	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	22	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	23	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	24	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	25	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	26	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	27	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	28	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	29	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	30	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 異文化研究

W	時間	授業内容	授業方法
海外 研 修 週	31	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	32	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	33	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	34	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	35	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	36	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	37	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	38	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	39	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	40	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	41	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	42	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	43	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	44	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	45	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	46	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	47	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	48	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	49	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	50	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	51	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	52	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	53	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	54	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
	55	海外研修	現地学生との交流、グループ別行動
後14	56	グループ発表の準備	グループワーク
後15	57	グループ発表の準備	グループワーク
後16	58	振り返り授業(グループ発表)	学生によるプレゼンテーション

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医科レセプト対策	必修	33時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科 1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜、高島佐智恵	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

1. 医療秘書技能検定試験(領域Ⅲ)の合格を目指す。
2. 医療事務員として働くにあたり、会計の根拠となる点数早見表の見方を理解する。
3. 医事コンピュータ・電子カルテ操作を行うための、基礎的な医療事務知識を身につける。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

医療秘書技能検定試験(領域Ⅲ) 合格

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、チェックテストの点数50%、検定結果30%、授業態度・提出物の状況10%、出席率10%の割合で評価する。

(6) 使用教材・教具

医学通信社 診療点数早見表、ソラスト サポートブック、
つちや出版 医療秘書技能検定実問題集 2級・3級(教員のみ)、筆記用具、電卓

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 レセプト対策

W	時間	授業内容	授業方法
前期 16	1	導入・試験説明	講義
	2	検体検査管理加算・画像診断管理加算問題	講義
	3	検体検査管理加算・画像診断管理加算問題解説	講義
前期 17	4	検定試験レセプト解き方解説・外迅検問題解説	講義
	5	検定試験レセプト解き方解説	講義
	6	検定試験問題集 演習	演習
前期 18	7	検定試験問題集 演習	演習
	8	検定試験問題集 演習	演習
	9	検定試験問題集 演習	演習
後期 1	10	検定試験問題集 演習	演習
	11	検定試験問題集 演習	演習
	12	検定試験問題集 演習	演習
後期 2	13	検定試験問題集 演習	演習
	14	検定試験問題集 演習	演習
	15	検定試験問題集 演習	演習
後期 3	16	検定試験問題集 演習	演習
	17	検定試験問題集 演習	演習
	18	検定試験問題集 演習	演習
後期 4	19	検定試験問題集 演習	演習
	20	検定試験問題集 演習	演習
	21	検定試験問題集 演習	演習
後期 5	22	検定試験問題集 演習	演習
	23	検定試験問題集 演習	演習
	24	検定試験問題集 演習	演習
後期 6	25	検定試験問題集 演習	演習
	26	検定試験問題集 演習	演習
	27	検定試験問題集 演習	演習
後期 7	28	検定試験問題集 演習	演習
	29	検定試験問題集 演習	演習
	30	検定試験問題集 演習	演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 医科レセプト対策

W	時間	授業内容	授業方法
後期 8	31	検定試験問題集 演習	演習
	32	検定試験問題集 演習	演習
	33	検定試験問題集 演習	演習
	34		
	35		
	36		
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医学知識	必修	66時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
牧浦舞香	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

本授業は医療秘書技能検定取得を目的とし、領域Ⅱ分野の知識を身につけるための授業である。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ・人体の解剖生理の基礎知識を理解できる
- ・頻度の高い疾病について理解できる
- ・検査及び画像診断の名称と一般的な医学略語を理解できる
- ・診療録、看護録の基本を理解できる

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、授業態度、授業内で行うテスト、検定結果を総合的に評価する

(6) 使用教材・教具

基礎医学教科書、プリント、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 医学知識

W	時間	授業内容	授業方法
前期	1	検定説明・総論～身体の方角・面・区分の表現方法	教科書と補助プリントを使用した講義
	2	総論～身体の方角・面・区分の表現方法	教科書と補助プリントを使用した講義
	3	総論～人体の構成要素～	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	4	総論～人体の構成要素～	教科書と補助プリントを使用した講義
	5	神経系・感覚器系	教科書と補助プリントを使用した講義
	6	神経系・感覚器系	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	7	神経系・感覚器系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
	8	循環器系	教科書と補助プリントを使用した講義
	9	循環器系	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	10	循環器系	教科書と補助プリントを使用した講義
	11	循環器系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
	12	循環器系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	13	血管・リンパ系	教科書と補助プリントを使用した講義
	14	血管・リンパ系と免疫	教科書と補助プリントを使用した講義
	15	血液～体液の成分と役割～	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	16	血液～血液の組織～	教科書と補助プリントを使用した講義
	17	血液～血液の組織～	教科書と補助プリントを使用した講義
	18	血液系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	19	運動器系～骨格系～	教科書と補助プリントを使用した講義
	20	運動器系～骨格系～	教科書と補助プリントを使用した講義
	21	運動器系～運動を行う筋系～	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	22	運動器系～運動を行う筋系～	教科書と補助プリントを使用した講義
	23	泌尿器系～腎臓・尿路の形態と機能～	教科書と補助プリントを使用した講義
	24	泌尿器系～腎臓・尿路の形態と機能～	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	25	泌尿器系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
	26	泌尿器系の病気	教科書と補助プリントを使用した講義
	27	内分泌系～内分泌系の働き～	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	28	内分泌系の種類	教科書と補助プリントを使用した講義
	29	内分泌系臓器の分布と機能	教科書と補助プリントを使用した講義
	30	内分泌系臓器の分布と機能	教科書と補助プリントを使用した講義

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 医学知識

W	時間	授業内容	授業方法
前期	11 31	医療用語と英略語	プリントを使用した演習
	32	呼吸器系～呼吸器の解剖～	教科書と補助プリントを使用した講義
	33	呼吸器系～呼吸器の解剖～	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	16 34	呼吸器系の疾患	教科書と補助プリントを使用した講義
	35	医療用語と英略語	プリントを使用した演習
	36	消化器系の解剖と機能	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	17 37	消化器系の解剖と機能	教科書と補助プリントを使用した講義
	38	消化管の疾患	教科書と補助プリントを使用した講義
	39	消化管の疾患	教科書と補助プリントを使用した講義
前期	18 40	医療用語と英略語	プリントを使用した演習
	41	生殖器系	教科書と補助プリントを使用した講義
	42	生殖器系	教科書と補助プリントを使用した講義
後期	1 43	生殖器系の疾患	教科書と補助プリントを使用した講義
	44	医療用語と英略語	プリントを使用した演習
	45	感染症の種類	教科書と補助プリントを使用した講義
後期	2 46	感染症の種類	教科書と補助プリントを使用した講義
	47	アレルギー疾患	教科書と補助プリントを使用した講義
	48	医療用語と英略語	プリントを使用した演習
後期	3 49	総論～まとめ問題～	プリントを使用した演習
	50	神経系・感覚器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習
	51	循環器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習
後期	4 52	血液系～まとめ問題～	プリントを使用した演習
	53	運動器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習
	54	泌尿器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習
後期	5 55	内分泌系～まとめ問題～	プリントを使用した演習
	56	呼吸器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習
	57	消化器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習
後期	6 58	消化器系～まとめ問題～	プリントを使用した演習
	59	医療用語と英略語～まとめ問題～	プリントを使用した演習
	60	テスト(解答解説を含む)	プリントを使用した演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 医学知識

W	時間	授業内容	授業方法
後期 7	61	テスト(解答解説を含む)	プリントを使用した演習
	62	テスト(解答解説を含む)	プリントを使用した演習
	63	テスト(解答解説を含む)	プリントを使用した演習
後期 8	64	テスト(解答解説を含む)	プリントを使用した演習
	65	テスト(解答解説を含む)	プリントを使用した演習
	66	テスト(解答解説を含む)	プリントを使用した演習
	67		
	68		
	69		
	70		
	71		
	72		
	73		
	74		
	75		
	76		
	77		
	78		
	79		
	80		
	81		
	82		
	83		
	84		
	85		
	86		
	87		
	88		
	89		
	90		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医療関連法規	必修	33時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
高島 佐智恵	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

<p>「健康保険法」を中心とした医療関連法規の概要を学び、特にわが国の医療保険制度に関する理解を深める。医療事務員として必要となる法令を理解する。また、医療秘書検定領域Ⅰの出題範囲の内容として合格に向けた答案練習を実施する。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険制度の仕組み、概要を理解し、覚え、医療事務員として仕事をする際に保険証から保険の種類が読み取れるようになる。 ・健康保険法を中心とした保険制度の内容について、大まかには窓口で患者様に説明ができる。 ・医療秘書検定領域Ⅰの出題内容を理解し、合格する。

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①医療秘書検定の合否②授業内で実施するチェックテストの結果③授業態度 を4:3:3の比率で総合的に評価する。</p>
--

(6) 使用教材・教具

「医療関連法規」テキスト、プリント教材、医療秘書検定過去問題、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 医療関連法規

W	時間	授業内容	授業方法
前期 16	1	医療秘書検定出題範囲の説明	講義
	2	医療保険制度の復習	補助プリントを使用しての講義
	3	医療保険制度の復習	補助プリントを使用しての講義
前期 17	4	医療保険制度の復習	チェックテスト実施
	5	健康保険法 総則	テキスト解説、補助プリントを使用
	6	保険者、被保険者	テキスト解説、補助プリントを使用
前期 18	7	健康保険法総則、保険者、被保険者	チェックテスト実施
	8	保険医療機関、保険医	テキスト解説、補助プリントを使用
	9	保険給付	テキスト解説、補助プリントを使用
後期 1	10	保険外併用療養費	テキスト解説、補助プリントを使用
	11	保険医療機関、保険医、保険給付、保険外併用療養費	チェックテスト実施
	12	診療費以外の保険給付	テキスト解説、補助プリントを使用
後期 2	13	高額療養費	テキスト解説、補助プリントを使用
	14	日雇い特例被保険者	テキスト解説、補助プリントを使用
	15	診療費以外の保険給付、高額療養費、日雇い特例被保険者	チェックテスト実施
後期 3	16	健康保険法以外の被用者保険	テキスト解説、補助プリントを使用
	17	船員保険	テキスト解説、補助プリントを使用
	18	共済組合	テキスト解説、補助プリントを使用
後期 4	19	国民健康保険	テキスト解説、補助プリントを使用
	20	後期高齢者医療制度	テキスト解説、補助プリントを使用
	21	労災保険	テキスト解説、補助プリントを使用
後期 5	22	医療秘書検定領域 I 対策練習問題実施	補助プリント
	23	医療秘書検定領域 I 対策練習問題実施	補助プリント
	24	医療秘書検定領域 I 対策練習問題実施	補助プリント
後期 6	25	模擬試験	検定試験問題集を使用
	26	模擬試験	検定試験問題集を使用
	27	模擬試験	検定試験問題集を使用
後期 7	28	模擬試験	検定試験問題集を使用
	29	模擬試験	検定試験問題集を使用
	30	模擬試験	検定試験問題集を使用

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 医療関連法規

W	時間	授業内容	授業方法
後期 8	31	模擬試験	検定試験問題集を使用
	32	模擬試験	検定試験問題集を使用
	33	模擬試験	検定試験問題集を使用
	34		
	35		
	36		
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医療秘書実務	必修	18時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
榎 祐香	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

本授業は、医療秘書全国協議会 医療秘書技能認定試験2級、3級の取得に向け、医療秘書の職務と役割の理解、業務能力、情報処理の知識・能力、倫理観について演習と講義を通して身に付ける。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- 3級
- (1) 医療秘書の初歩的な業務を、指示通り確実に実行することができる。
 - (2) 医療従事者の守秘義務の重要性について、理解している。
 - (3) 医療秘書の、職務と役割を理解し、マナー・接遇の基本を心得ている。
 - (4) 医療機関における受付業務に関する知識と技能を持ち、基本的な対応ができる。
- 2級
- (1) 医療秘書の職務と役割をよく理解した上で、指示通り確実に実行する能力があり、状況に応じた判断力、行動力がある。
 - (2) 医療秘書に求められるコミュニケーション能力を十分に理解している。
 - (3) 医療秘書の定型的業務は勿論のこと、やや複雑な業務を遂行する能力がある。
 - (4) 院内・院外文書の作成と取り扱いができ、ファイリングに対する基礎知識がある。
 - (5) 医療従事者の職業倫理を理解している。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テスト、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。

(6) 使用教材・教具

医療秘書技能検定試験実問題集、実践ビジネスマナー、ipad、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 医療秘書実務

W	時間	授業内容	授業方法
前期	1	動機づけ、授業の進め方	講義
	16	2	医療秘書の心構え、資質
前期	3	医療秘書の身だしなみ	講義と演習
	17	4	指示と報告、挨拶とおじぎ
後期	5	医療秘書と企業秘書の違い	講義と演習
	1	6	敬語、言葉遣い、電話対応、患者サービス、院内文書
後期	7	宛名の敬称、名刺	講義と演習
	2	8	医療秘書の人間関係、医師・患者とのコミュニケーション
後期	9	病棟クラークの役割、患者の心理、患者サービス	講義と演習
	3	10	院内の環境整備、医事業務
後期	11	院内会議準備、カンファレンスの心得	講義と演習
	5	12	電子メールの扱い、グラフ、封筒の書き方
後期	13	返信はがきの書き方、ファイリング	講義と演習
	6	14	スケジュール管理、患者クレーム対応
後期	15	守秘義務、個人情報保護法	講義と演習
	7	16	医療秘書技能検定試験実問題集よりテスト
後期	17	医療秘書技能検定試験実問題集よりテスト	テストと解説
	8	18	医療秘書技能検定試験実問題集よりテスト

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
医療保険事務	必修	249時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科 1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜、高島 佐智恵	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

<p>1. 医療事務管理士技能認定試験 医科の合格を目指す。 ①外来レセプト作成 ②入院レセプト作成 ③レセプト点検 ④医療保険制度の知識 2. 医療事務員として働くにあたり、会計の根拠となる点数早見表の見方を理解する。 3. 医事コンピュータ・電子カルテ操作を行うための、基礎的な医療事務知識を身につける。 4. 医療保険の知識と、医療保険制度の仕組みを理解する。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

医療事務管理士技能認定試験 医科 合格率90%以上

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、チェックテストの点数50%、検定結果30%、授業態度・提出物の状況10%、出席率10%の割合で評価する。

(6) 使用教材・教具

ソラスト テキスト1～5・診療報酬明細書、医学通信社 診療点数早見表、電卓、筆記用具 ソラスト 学習レポート集(教員のみ)、医学通信社 診療報酬完全マスタードリル(教員のみ)
--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 医療保険事務

W	時間	授業内容	授業方法
前期 1	1	テキスト1 1部1章 医療機関と薬局、練習問題	講義と演習
	2,3	テキスト1 1部2章 医療保障制度	講義
	4	練習問題、検定問題類似プリント①	講義と演習
	5	テキスト1 1部3章 保険給付 IIまで	講義
	6	練習問題 問1のみ、第1回レポート問1. 2	講義と演習
	7	検定問題類似プリント②	講義と演習
	8	検定問題問3類似プリント 保険者番号のみ	講義と演習
	9,10	テキスト1 1部3章 保険給付 IIIから	講義
	11	練習問題、第1回レポート問3 1のみ	講義と演習
	12,13	検定問題類似プリント③～⑤	講義と演習
	14,15	テキスト1 1部4章 医科医療事務の仕事、練習問題	講義と演習
前期 2	16	レポート問3 2、問4と検定問題類似プリント⑥	講義と演習
	17	テキスト2 3部2章 レセプトの基礎知識	講義
	18	練習問題、トレーニングブック 上書き1～2号	講義と演習
	19	トレーニングブック 上書き3～6号	講義と演習
	20, 21	テキスト2 3部3章 点数算定の原則	講義
前期 3	22	テキスト2 4部1章 初・再診料	講義
	23	練習問題、第1回レポート問5～7	講義と演習
	24,25	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習
	26～28	テキスト2 4部2章 医学管理料	講義
	29	練習問題、第1回レポート問8～10	講義と演習
	30,31	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習
	32～34	テキスト2 4部3章 在宅医療 I II	講義
	35,36	練習問題、第1回レポート問11	講義と演習
	37	テキスト1 1部3章 保険給付 IIまで	講義
	38	練習問題 問1のみ、第1回レポート問1. 2	講義と演習
39	トレーニングブック7号	講義と演習	
前期 4	40	トレーニングブック14号(チェックテスト)	演習
	41,42	テキスト2 4部4章 投薬	講義
	43	練習問題、第1回レポート問3 1のみ	講義と演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 医療保険事務

W	時間	授業内容	授業方法	
前期	44	練習問題、第2回レポート問1～3	講義と演習	
	45,46	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習	
	47～54	トレーニングブック1～4号、解答	グループワークと演習	
前期	55	レポート1号(チェックテスト)、解説	演習	
	56,57	テキスト2 4部5章 注射	講義	
	58	練習問題、第3回レポート問1. 2	講義と演習	
	59,60	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習	
	61～67	トレーニングブック5～8号、解答	グループワークと演習	
前期	68,69	レポート2号(チェックテスト)、解説	演習	
	70,71	テキスト2 4部6章 処置	講義	
	72～77	トレーニングブック9～11号、解答	グループワークと演習	
	78	練習問題、第3回レポート問3. 4(1のみ)	講義と演習	
	79,80	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習	
	81,82	テキスト2 4部7章 リハビリ	講義	
	83	練習問題、第3回レポート問4(2のみ)5	講義と演習	
前期	84	診療報酬完全マスタードリル	講義と演習	
	85～87	レポート3号(チェックテスト)、解説	演習	
	88～90	トレーニングブック12～13号、解答	グループワークと演習	
	91,92	テキスト2 4部8章 検査 I 検体検査	講義	
	93～96	トレーニングブック14～15号、解答	グループワークと演習	
前期	97,98	テキスト2 4部8章 検査 II 生体検査	講義	
	99～104	トレーニングブック16～18号、解答	グループワークと演習	
	105	練習問題、第4回レポート問1～4	講義と演習	
	106,107	レポート4号(チェックテスト)、解説	演習	
前期	8	108	テキスト2 4部9章 病理診断	講義
	109	練習問題・診療報酬完全マスタードリル	講義と演習	
	110,111	テキスト2 4部10章 手術	講義	
	112	テキスト2 4部11章 麻酔	講義	
	113	練習問題、第4回レポート問5～8	講義と演習	
	114～116	トレーニングブック19～21号、解答	グループワークと演習	

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 医療保険事務

W	時間	授業内容	授業方法
前期	117~119	レポート5号(チェックテスト)、解説	演習
	8	120,121 トレーニングブック22号、解答	グループワークと演習
	122,123	診療報酬完全マスタードリル	グループワークと演習
前期	124,125	レポート6号(チェックテスト)、解説	演習
	9	126,127 テキスト2 4部12章 画像診断	講義
	128	練習問題、第5回レポート問1~4	講義と演習
	129~135	トレーニングブック23~28号	グループワークと演習
	136,137	診療報酬完全マスタードリル	グループワークと演習
	138~141	トレーニングブック29~31号	グループワークと演習
前期	10	142 テキスト1 2部1章 公費負担医療	講義
	143	テキスト1 2部4章 医療事務スタッフの心構え	講義
	144	練習問題、検定問題類似プリント⑦~⑧	講義と演習
	145,146	レポート7号(チェックテスト)解答	演習
	147,148	テキスト2 4部14章 入院	講義
	149	練習問題、第1回レポート問4, 5、第5回レポート問6~10	講義と演習
	150	診療報酬完全マスタードリル	グループワークと演習
	151~159	トレーニングブック34~39号、解答	グループワークと演習
前期	11	160~163 レポート8号(チェックテスト)、解説	演習
	164,165	テキスト2 5部1章 点検	講義
	166~170	トレーニングブック44~50号解答	グループワークと演習
	171	テキスト2 4部13章 精神科専門療法・放射線治療	講義
	172	練習問題、第5回レポート問5、問11~12	講義と演習
	173	診療報酬完全マスタードリル	グループワークと演習
	174,175	トレーニングブック32・33号、解答	グループワークと演習
	176,177	学科対策プリント	講義と演習
前期	12	178~185 トレーニングブック40~43号解答	グループワークと演習
	186,187	レポート9号(チェックテスト)、解説	演習
	188~195	検定試験問題集 演習	演習
前期	196~	検定試験問題集 演習	演習
13~15	~249	検定試験問題集 演習	演習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
課外研修活動Ⅰ	必修	50時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
高島佐智恵、田上若菜	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

1年次に学校内外で実施される各種研修、イベント等を包括的に一つの科目とみなし、単位認定する。
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

学校運営理念である「誠実、明朗、進取の精神をもった、チャレンジ精神旺盛な社会人を育成する」ことを到達目標とし、実施される研修、イベントのすべてがその土台となるものとする。

(5) 成績評価方法・基準

出席を最も重要視し、各内容への貢献度、参加姿勢などを加味して評価する。

(6) 使用教材・教具

--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 課外研修活動 I

W	時間	授業内容	授業方法
オリテ	1	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	2	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	3	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	4	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	5	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	6	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	7	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	8	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	9	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	10	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	11	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	12	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
	13	新入生オリエンテーション	入学時手続き、各種説明、始業講演、マナー研修等
前1	14	クラス親睦会	コミュニケーション、ゲーム
	15	クラス親睦会	コミュニケーション、ゲーム
	16	クラス親睦会	コミュニケーション、ゲーム
	17	クラス親睦会	コミュニケーション、ゲーム
	18	クラス親睦会	コミュニケーション、ゲーム
	19	クラス親睦会	コミュニケーション、ゲーム
前2	20	避難訓練	避難経路、避難場所確認
前13	21	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	22	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	23	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	24	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	25	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	26	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	27	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
	28	夏フェス	グループ27校合同の学園祭
調整	29	スポーツ大会	球技、チームスポーツ
	30	スポーツ大会	球技、チームスポーツ

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
級別演習(医療秘書)	選択	36時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科1年生、医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
伊藤 綾	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

医療秘書検定2級受験者へ向けて問題演習を行い、検定合格を目指す。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・医療秘書として、それぞれの領域について一般的な知識と技能をもち、やや複雑な業務を遂行することができる。 ・医療秘書検定2級、3級に合格する。
--

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①検定結果②授業態度③出席時間数④提出物を3:3:2:2の比率で総合的に判断する。
--

(6) 使用教材・教具

検定試験問題集、補助プリント

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 級別演習(医療秘書)

W	時間	授業内容	授業方法
前期	1	病院の発達、病院の種類、規模、開設者	補助プリントを使用し問題演習、解説
	2	病院運営、院内各部門の業務	補助プリントを使用し問題演習、解説
	3	医療の質の保証、経営管理論	補助プリントを使用し問題演習、解説
前期	4	病院組織の種類と特徴、組織の原則	補助プリントを使用し問題演習、解説
	5	診療統計	補助プリントを使用し問題演習、解説
	6	医療発展の経緯、貢献した人物	補助プリントを使用し問題演習、解説
前期	7	クローズシステムとオープンシステム	補助プリントを使用し問題演習、解説
	8	施設数の推移、医療保険制度の特徴	補助プリントを使用し問題演習、解説
	9	DPCの現状	補助プリントを使用し問題演習、解説
	10	医療法、医師法	補助プリントを使用し問題演習、解説
	11	医療法、医師法	補助プリントを使用し問題演習、解説
	12	医療保険制度	補助プリントを使用し問題演習、解説
後期	13	健康保険制度	補助プリントを使用し問題演習、解説
	14	療養担当規則、医療従事者各法	補助プリントを使用し問題演習、解説
	15	療養担当規則、医療従事者各法	補助プリントを使用し問題演習、解説
後期	16	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	17	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	18	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
後期	19	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	20	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	21	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
後期	22	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	23	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	24	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
後期	25	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	26	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	27	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
後期	28	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	29	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説
	30	模擬試験	検定試験問題集を使用しての問題演習、解説

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
級別演習(診療報酬)	選択	36時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科、医療事務学科1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
木野井 由美	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医科・歯科医療機関でのレセプト点検及び新潟市国民健康保険レセプト審査	

(3) 授業概要

<p>診療報酬請求事務は前期に学習した内容を復習しながら、診療報酬請求事務能力認定試験に出題される診療行為について理解・算定の仕方を症例を挙げて説明する。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>診療報酬の具体的診療行為について全体を把握し、個々の診療行為・薬剤等を点数表と薬価表に従って正確なレセプトを作成できるようにする。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>外来・入院の確認テスト及び評価テスト。宿題提出状況を考慮する。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>診療報酬請求事務能力認定試験用「最新問題と受験対策」 サポートブック 診療点数早見表 補助プリント</p>
--

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 級別演習(診療報酬)

W	時間	授業内容	授業方法
後期1	1	医学管理料(外来)点数算定	診療点数早見表及びサポートブックを使用して講義 補助プリントを使用して演習
	2	医学管理料(外来)点数算定	
	3	医学管理料(入院)点数算定	
後期2	4	投薬料(一般名処方)点数算定	補助プリントを使用して講義・演習
	5	投薬料(一般名処方)点数算定	
	6	投薬料(入院)点数算定	
後期3	7	処置料(入院・外来)点数算定	診療点数早見表及びサポートブックを使用して講義 補助プリントを使用して演習
	8	処置料(入院・外来)点数算定	
	9	処置料点数算定	
後期4	10	確認テスト(医学管理・投薬・処置料)	補助プリントを使用
	11	確認テスト(医学管理・投薬・処置料)	補助プリントを使用
	12	手術料点数算定	診療点数早見表及びサポートブックを使用して講義 補助プリントを使用して演習
後期5	13	手術料点数算定	
	14	手術料点数算定	
	15	麻酔料(閉鎖循環式全身麻酔)点数算定	補助プリント及びサポートブックを使用して講義・演習
後期6	16	麻酔料(閉鎖循環式全身麻酔)点数算定	
	17	麻酔料点数算定	
	18	確認テスト(処置・手術・麻酔)	補助プリントを使用
後期7	19	輸血料点数算定	補助プリント及びサポートブックを使用して講義・演習
	20	輸血料点数算定	
	21	確認テスト(手術・麻酔・輸血料)	
後期8	22	リハビリテーション料(外来・入院)点数算定	補助プリント及びサポートブックを使用して講義・演習
	23	リハビリテーション料(外来・入院)点数算定	
	24	検査料・病理診断料点数算定	
後期9	25	検査料・病理診断料点数算定	
	26	画像診断料点数算定	サポートブック及び補助プリントを使用して講義
	27	確認テスト(リハビリテーション・画像診断料)	補助プリントを使用
後期10	28	確認テスト(検査料・画像診断料)	補助プリントを使用
	29	入院料点数算定	診療点数早見表及びサポートブックを使用して講義
	30	入院料点数算定	サポートブックを使用して演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 級別演習(診療報酬)

W	時間	授業内容	授業方法
後期 11	31	入院料(食事料)	サポートブック及び補助プリントを使用して講義
	32	確認テスト(入院料)	
	33		
後期 12	34	評価テスト(外来)	
	35	評価テスト(入院)	
	36		
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
社会人常識マナー	必修	28時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科 医療事務学科 1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜、高島 佐智恵	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

<p>①社会人常識マナー検定の合格を目指す。 ②コミュニケーション能力向上をはかる。 ③就職の筆記試験へ対応できる基礎学力を身につける。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

社会人常識マナー検定全員合格

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、チェックテストの点数50%、検定結果30%、授業態度・提出物の状況10%、出席率10%の割合で評価する。

(6) 使用教材・教具

全経公式テキスト 社会人常識マナー検定テキスト2・3級、補助プリント

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 社会人常識マナー

W	時間	授業内容	授業方法
前16	1	動機づけ,社会人とは	講義
前17	2	一般常識①	講義と演習
後1	3	一般常識②	講義と演習
後2	4	一般常識②-2,一般常識③-1	講義と演習
後3	5	一般常識③-2	講義と演習
後4	6	一般常識④	講義と演習
後5	7	一般常識⑤	講義と演習
後6	8	一般常識⑥	講義と演習
後7	9	一般常識⑦-1	講義と演習
後8	10	一般常識⑦-2	講義と演習
後9	11	一般常識⑧-1	講義と演習
	12	一般常識⑧-2	講義と演習
	13	一般常識⑨	講義と演習
後10	14	一般常識⑩	講義と演習
	15	コミュニケーション①,計算問題	講義と演習
	16	コミュニケーション②,計算問題	講義と演習
後11	17	コミュニケーション③,計算問題	講義と演習
	18	ビジネスマナー①,計算問題	講義と演習
	19	ビジネスマナー②,計算問題	講義と演習
後12	20	ビジネスマナー③,計算問題	講義と演習
	21	ビジネスマナー④,計算問題	講義と演習
	22	検定試験問題集を使用したテスト	講義と演習
後13	23	検定試験問題集を使用したテスト	演習
	24	検定試験問題集を使用したテスト	演習
	25	検定試験問題集を使用したテスト	演習
後14	26	検定試験問題集を使用したテスト	演習
	27	検定試験問題集を使用したテスト	演習
	28	検定試験問題集を使用したテスト	演習
	29	検定試験問題集を使用したテスト	演習
	30	検定試験問題集を使用したテスト	演習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
就職実務 I (実践行動学含む)	必修	67時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜、高島 佐智恵	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

<ol style="list-style-type: none"> 1年間に於ける全員受験の検定合格や在学中の目標を定め、モチベーションを向上させる。 社会人としての姿勢・マナーを身につける。 在学中の問題や学生が抱える困難にいち早く気づき、早急に対応できる環境を作る。 就活生としての自覚を身につけ、求職登録に合格する。
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>在校生の目標達成 求職登録 合格</p>

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、授業態度・提出物の状況80%、出席率20%の割合で評価する。

(6) 使用教材・教具

実践行動学研究所 夢実現のための実践行動学

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 就職実務 I (実践行動学含む)

W	時間	授業内容	授業方法
前1	1	ホームルーム	講義
前2	2	実践行動学part1	グループワーク
	3	実践行動学part1	グループワーク
	4	実践行動学part1	グループワーク
	5	実践行動学part1	グループワーク
	6	実践行動学part1	グループワーク
	7	実践行動学part1	グループワーク
前3	8	ホームルーム(モチベーション自己診断)	講義
前4	9	実践行動学part1 振り返り(ステップアップシート)	グループワーク
前5	10	挨拶マナー研修 振り返り(挨拶、お辞儀、敬語)	グループワーク
前6	11	ホームルーム(ライフデザインナビ I)	講義
前7	12	ホームルーム(万代清掃)	実習
前8	13	ホームルーム(万代清掃)	実習
前9	14	ホームルーム(万代清掃)	実習
前10	15	ホームルーム(HyperQU)	講義
前11	16	価値観の違いを考える(ディスカッション)	グループワーク
前12	17	価値観の違いを考える(ディスカッション)	グループワーク
前13	18	価値観の違いを考える(ディスカッション)	グループワーク
前14	19	グループディスカッション	グループワーク
前15	20	グループディスカッション	グループワーク
前16	21	グループディスカッション	グループワーク
前17	22	実践行動学part1 振り返り(ステップアップシート)	グループワーク
	23	実践行動学part2	グループワーク
	24	実践行動学part2	グループワーク
	25	実践行動学part2	グループワーク
	26	実践行動学part2	グループワーク
	27	実践行動学part2	グループワーク
前18	28	実践行動学part2	グループワーク
後3	29	就職動画の使い方について	講義
後4	30	これから、どう生きていくのか(早期離職について)	講義とグループワーク

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 就職実務 I (実践行動学含む)

W	時間	授業内容	授業方法
後5	31	社会に求められる人材とは(自己分析)	講義とグループワーク
後6	32	チャンスを逃さない	講義とグループワーク
後7	33	働く理由を考える	講義とグループワーク
後8	34	職種について考える	講義とグループワーク
後9	35	伝わる文章の書き方	講義とグループワーク
	36	相手を納得させる論理力	講義とグループワーク
	37	構成を考える	講義とグループワーク
後10	38	今後の就職活動の流れについて	講義とグループワーク
	39	求職登録の概要説明	講義とグループワーク
	40	求職票の書き方、記入	講義とグループワーク
後11	41	面接入室動作説明、練習	講義とグループワーク
	42~43	履歴書・エントリーシートの書き方	講義とグループワーク
後12	44~46	卒業生講話	講義
後13	47~49	自己PRのネタを探す	講義とグループワーク
後14	50~52	自己PRの骨格をつくる	講義とグループワーク
後15	53~55	説得力のある自己PRをつくる	講義とグループワーク
後16	56~58	志望動機をつくる	講義とグループワーク
	59	コミュニケーションは「きく」から始まる・面接練習	演習
	60	「話す」は「全身表現」・面接練習	演習
後16	61	日本語の発声法・面接練習	演習
後17	62	緊張は友達・面接練習	演習
	63	リズムカルに話す・面接練習	演習
	64	身だしなみ・面接練習	演習
後18	65	面接のマナー・面接練習	演習
	66	面接試験対策・面接練習	演習
	67	ホームルーム	講義

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
接遇実習	必修	36時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科 医療事務学科 1年		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜・榎 祐香・高島 佐智恵	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

1. 医療機関での正しい患者対応の基礎を身につける。
2. 社会人としての正しい姿勢、お辞儀、挨拶、言葉づかいを身につける。
3. 電話対応、受付対応、ご案内、お茶出しのマナーを身につける。
4. 病院実習における医療機関スタッフとしての心構えを学び、実習の準備を整える。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

医療秘書技能検定試験の医療秘書実務分野の基礎を理解する。
 医療従事者としての心構えを理解する。
 正確な電話応対ができる。
 患者様の目線に立った、窓口応対ができる。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、チェックテストの点数50%、
 授業態度30%、提出物の状況10%、出席率10%の割合で評価する。

(6) 使用教材・教具

ウイネット 社会でいきる実践ビジネスマナー、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 接遇実習

W	時間	授業内容	授業方法
前期 1	1	身だしなみ(髪・ヒール:3cm以内・足組禁等)	テキストを使用し説明、実践
	2	立つ姿勢・お辞儀・椅子の立ち座り(動き)	テキストを使用し説明、実践
前期 2	3	【実習室】接遇とは・歩き方	テキストを使用し説明、実践
	4	【実習室】接遇とは・歩き方	ロールプレイ
前期 3	5	【実習室】立ち姿 お辞儀 初診受付	テキストを使用し説明、実践
	6	【実習室】立ち姿 お辞儀 初診受付	ロールプレイ
前期 4	7	【実習室】言葉遣いの基本	テキストを使用し説明、実践
	8	【実習室】言葉遣いの基本	ロールプレイ
前期 5	9	【実習室】受付対応の流れ	テキストを使用し説明、実践
	10	【実習室】受付対応の流れ	ロールプレイ
前期 6	11	【実習室】受付対応の流れ	ロールプレイ
	12	【実習室】取り次ぎの仕方	テキストを使用し説明、実践
前期 7	13	【実習室】取り次ぎの仕方	ロールプレイ
	14	【実習室】案内の要領	テキストを使用し説明、実践
前期 8	15	【実習室】案内の要領	ロールプレイ
	16	席次、お茶の出し方	テキストを使用し説明、実践
前期 9	17	席次、お茶の出し方	ロールプレイ
	18	受付～取次～案内～お茶出し	ロールプレイ
前期 10	19	受付～取次～案内～お茶出し	ロールプレイ
	20	受付～取次～案内～お茶出し	ロールプレイ
前期 11	21	【実習室】電話対応	テキストを使用し説明、実践
	22	【実習室】電話対応	ロールプレイ
前期 12	23	電話対応練習	テキストを使用し説明、実践
	24	電話対応練習	ロールプレイ
前期 14	25	実技テスト説明、練習	ロールプレイ
	26	練習	ロールプレイ
前期 15	27	実技テスト	テスト
	28	実技テスト	テスト
後期 8	29	実習の心構え	実習関連プリントを使用し説明
	30	自己紹介書 作成	演習

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 接遇実習

W	時間	授業内容	授業方法
後期 9	31	履歴書、誓約書、実習機関概要、交通手段 作成	演習
	32	お礼状について説明、作成	補助プリントを使って説明。演習
後期 10	33	実習日誌の書き方	補助プリントを使って説明
	34	実習日誌の書き方	補助プリントを使って説明
後期 11	35	実習ファイル作成	作成
	36	名札、白衣 配布	配布と説明
	37		
	38		
	39		
	40		
	41		
	42		
	43		
	44		
	45		
	46		
	47		
	48		
	49		
	50		
	51		
	52		
	53		
	54		
	55		
	56		
	57		
	58		
	59		
	60		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
電子カルテ実習	必修	18時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科 1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜、高島 佐智恵	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

<p>本授業は、医療機関に普及しつつある電子カルテの仕組みと操作のルール(SOAP)について理解する。医師と患者の問答形式の問題を見ながら早く正確なカルテを作成する。</p>

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>次年度の電子カルテ実技検定の合格と、電子カルテシステムを理解する。並行して、他部門との連携やデータの共有についての知識を深める。 現実には医師・患者間の情報入力のため、入力定義に沿ってすばやく内容を判断できること。</p>
--

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①評価テスト、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。</p>
--

(6) 使用教材・教具

<p>電子カルテシステムの理解と演習 電子カルテ操作テキスト 医科サポートブック パソコン(学校のPCルーム)、筆記用具</p>
--

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 電子カルテ実習

W	時間	授業内容	授業方法
後期 13	1	動機づけ、電子カルテについて全体像、問答形式問題について理解する。SOAPの定義	テキストを使用しての講義
	2	タイピング練習(ブラインドタッチ)	テキストを使用してのSOAP入力演習
	3	タイピング練習 患者・Dr登録	テキストを使用しての演習
後期 14	4	電子カルテオーダー練習症例	テキストを使用しての演習
	5	電子カルテオーダー練習症例	テキストを使用しての演習とSOAP入力練習
	6	電子カルテオーダー練習症例 タイピング練習	テキストを使用しての演習
後期 15	7	電子カルテシステムの理解と演習テキストより、病院問答形式問題の入力 ①	テキストを使用しての演習
	8	電子カルテシステムの理解と演習テキストより、病院問答形式問題の入力① ②	テキストを使用しての演習
	9	電子カルテシステムの理解と演習テキストより、病院問答形式問題の入力②	テキストを使用しての演習
後期 16	10	入力内容の削除と変更、Do設定について	テキストを使用しての講義と演習
	11	入力内容の削除と変更、Do設定について	テキストを使用しての講義と演習
	12	電子カルテシステムの理解と演習より、病院問答形式問題の入力③	テキストを使用しての演習
後期 17	13	電子カルテシステムの理解と演習より、問答形式問題の入力④	テキストを使用しての演習
	14	電子カルテシステムの理解と演習より、問答形式問題の入力⑤	テキストを使用しての演習
	15	電子カルテシステムの理解と演習より、問答形式問題の入力⑥	テキストを使用しての演習
後期 18	16	評価テスト	入力テスト
	17	評価テスト	入力テスト
	18	評価テスト	入力テスト
後期	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
電卓 I	必修	20時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科 1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜、高島 佐智恵	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

<p>電卓計算能力検定上位級合格を目標として、時間内に早く・正確に効果的な電卓操作ができること。</p>
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

<p>電卓計算能力検定試験3級 全員合格</p>

(5) 成績評価方法・基準

<p>当授業への出席率80%以上を前提とし、①検定結果、②授業への貢献度、③課題実施状況を4:3:3の割合で評価する。</p>

(6) 使用教材・教具

<p>電卓、筆記用具</p>

(7) 授業にあたっての留意点

<p></p>

(8) その他

<p></p>

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 電卓 I

W	時間	授業内容	授業方法
	1	電卓検定について	講義
	2	乗算	講義と演習
	3	乗算、除算	講義と演習
	4	見取り算、複合算	講義と演習
	5	伝票算	講義と演習
	6	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	7	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	8	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	9	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	10	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	11	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	12	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	13	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	14	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	15	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	16	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	17	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	18	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	19	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	20	検定試験問題集を使用するのテスト	演習
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
病院マネジメント	必修	60時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
田上 若菜、高島 佐智恵	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療秘書技能検定試験の合格を目指す。 2. 医療事務員として働くにあたり、日本の医療機関の歴史と特徴を理解する。 3. 社会人として働くにあたり、組織の在り方と仕組みを理解する。 4. 医療保険の歴史や諸外国との違いと、医療保険制度の仕組みを理解する。
--

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

医療秘書検定3級(領域 I)全員合格

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、チェックテストの点数50%、検定結果30%、授業態度・提出物の状況10%、出席率10%の割合で評価する。

(6) 使用教材・教具

建帛社 病院のマネジメント、筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

--

(8) その他

--

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 病院マネジメント

W	時間	授業内容	授業方法
前期 1	1	導入・検定説明	講義
	2	病院の沿革	講義
前期 2	3	病院の沿革	講義
	4	病院の沿革	講義
前期 3	5	確認テスト①	講義と演習
	6	病院の目的と機能	講義
前期 4	7	病院の目的と機能	講義
	8	病院の目的と機能	講義
前期 5	9	確認テスト②	講義と演習
	10	診療部門	講義
前期 6	11	診療部門	講義
	12	診療部門	講義
前期 7	13	確認テスト③	講義と演習
	14	看護部門	講義
前期 8	15	看護部門	講義
	16	看護部門	講義
前期 9	17	看護部門	講義
	18	看護部門	講義
前期 10	19	確認テスト④	講義と演習
	20	副診療技術部門	講義
前期 11	21	副診療技術部門	講義
	22	副診療技術部門	講義
前期 12	23	副診療技術部門	講義
	24	副診療技術部門	講義
前期 13	25	副診療技術部門	講義
	26	事務部門	講義
前期 14	27	事務部門	講義
	28	事務部門	講義
前期 15	29	施設管理・環境整備部門	講義
	30	確認テスト⑤	講義と演習

【別紙】

授 業 計 画 書

 科目名 病院マネジメント

W	時間	授業内容	授業方法
前期 16	31	病院管理	講義
	32	病院管理	講義
	33	病院管理の方法	講義
前期 17	34	病院管理の方法	講義
	35	病院の組織	講義
	36	病院の組織	講義
前期 18	37	病院の組織	講義
	38	確認テスト⑥	講義と演習
	39	病院会計 病院における人間関係のマネジメント	講義
後期 1	40	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
	41	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
	42	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
後期 2	43	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
	44	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
	45	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
後期 3	46	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義
	47	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義と演習
	48	医療関連法規(医療制度・社会保障制度・医療法)	講義と演習
後期 5	49	確認テスト⑦	講義と演習
	50	検定試験問題集 演習	演習
	51	検定試験問題集 演習	演習
後期 6	52	検定試験問題集 演習	演習
	53	検定試験問題集 演習	演習
	54	検定試験問題集 演習	演習
後期 7	55	検定試験問題集 演習	演習
	56	検定試験問題集 演習	演習
	57	検定試験問題集 演習	演習
後期 8	58	検定試験問題集 演習	演習
	59	検定試験問題集 演習	演習
	60	検定試験問題集 演習	演習

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
病院実習	選択	40時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
インターンシップ先	有
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	
医療機関事務	

(3) 授業概要

本授業は、学科の専門職となる医療機関での実習を経験し、指導担当者の元、医事課業務全般についての知見を深めていく。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

実際の医療機関での医事課業務をインターンシップとして体験し、業務遂行に活かせるものとする。

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、①授業への貢献度、②マナー、実習姿勢、③報告書の記入を4:3:3の割合で評価する。

(6) 使用教材・教具

白衣、ネームプレート、実習日誌

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 病院実習

W	時間	授業内容	授業方法
冬期休暇	1	実習概要説明	指導担当者の元でのインターンシップ
初日	2	院内見学	指導担当者の元でのインターンシップ
	3	再来受付機案内	指導担当者の元でのインターンシップ
	4	新患受付	指導担当者の元でのインターンシップ
	5		指導担当者の元でのインターンシップ
	6		指導担当者の元でのインターンシップ
	7		指導担当者の元でのインターンシップ
	8		指導担当者の元でのインターンシップ
	冬期休暇	9	新患受付
2日目	10	診察券発行	指導担当者の元でのインターンシップ
	11	レセプト確認	指導担当者の元でのインターンシップ
	12	処方箋の変更	指導担当者の元でのインターンシップ
	13	請求書作成	指導担当者の元でのインターンシップ
	14		指導担当者の元でのインターンシップ
	15		指導担当者の元でのインターンシップ
	16		指導担当者の元でのインターンシップ
	冬期休暇	17	保険証確認
3日目	18	予約券、処方箋渡しのご案内	指導担当者の元でのインターンシップ
	19	未収金の請求	指導担当者の元でのインターンシップ
	20	収納の確認	指導担当者の元でのインターンシップ
	21		指導担当者の元でのインターンシップ
	22		指導担当者の元でのインターンシップ
	23		指導担当者の元でのインターンシップ
	24		指導担当者の元でのインターンシップ
	冬期休暇	25	再来受付機案内
4日目	26	書類預かり	指導担当者の元でのインターンシップ
	27	入院案内	指導担当者の元でのインターンシップ
	28		指導担当者の元でのインターンシップ
	29		指導担当者の元でのインターンシップ
	30		指導担当者の元でのインターンシップ

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 病院実習

W	時間	授業内容	授業方法
	31		指導担当者元でのインターンシップ
	32		指導担当者元でのインターンシップ
冬期休暇	33	レセプト確認補助	指導担当者元でのインターンシップ
5日目	34	請求書作成	指導担当者元でのインターンシップ
	35	交通事故、労災請求業務	指導担当者元でのインターンシップ
	36	入院時確認リスト	指導担当者元でのインターンシップ
	37		指導担当者元でのインターンシップ
	38		指導担当者元でのインターンシップ
	39		指導担当者元でのインターンシップ
	40		指導担当者元でのインターンシップ

(1) 基本情報

科目名	必修・選択	授業時間総数
病理学	選択	27時間
対象学科・学年		
医療秘書・事務学科 1年 医療事務学科		

(2) 担当教員

教員名	実務経験の有無
牧浦舞香	無
実務経験の職種と業務内容【実務経験有の場合のみ記載】	

(3) 授業概要

本授業は医療秘書技能検定2級取得を目的とし、領域Ⅱ分野の知識を身につけるための授業である。

※具体的な授業計画、授業方法は別紙授業計画書を参照

(4) 到達目標

- ・一般的な疾病について臓器、組織障害にかかわる原因、症状についての理解できる
- ・診療、検査と治療学を関連付けることができる
- ・医学英語、看護用語について理解できる
- ・医薬品に対する一般的な知識を理解できる

(5) 成績評価方法・基準

当授業への出席率80%以上を前提とし、授業態度、授業内で行うテスト、検定結果を総合的に評価する

(6) 使用教材・教具

プリント・筆記用具

(7) 授業にあたっての留意点

(8) その他

【別紙】

授 業 計 画 書

科目名 病理学

W	時間	授業内容	授業方法
前期 16	1	細胞の障害	プリントを使用しての講義
	2	炎症	プリントを使用しての講義
	3	循環障害の種類	プリントを使用しての講義
前期 18	4	循環障害の種類	プリントを使用しての講義
	5	循環障害と疾患	プリントを使用しての講義
	6	循環障害と疾患	プリントを使用しての講義
後期 1	7	循環障害と疾患	プリントを使用しての講義
	8	先天性異常疾患	プリントを使用しての講義
	9	先天性異常疾患	プリントを使用しての講義
後期 2	10	腫瘍の分類	プリントを使用しての講義
	11	腫瘍の分類	プリントを使用しての講義
	12	腫瘍の分類	プリントを使用しての講義
後期 3	13	腫瘍の分類	プリントを使用しての講義
	14	栄養素と疾患	プリントを使用しての講義
	15	栄養素と疾患	プリントを使用しての講義
後期 4	16	検査の知識	プリントを使用しての講義
	17	検査の知識	プリントを使用しての講義
	18	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
後期 5	19	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	20	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	21	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
後期 6	22	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	23	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	24	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
後期 7	25	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	26	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	27	テスト(解答・解説を含む)	プリントを使用した演習
	28		
	29		
	30		